

1月3日：VN指数は上昇幅を拡大 (VN-Index +1.10%)

- 本日のVN指数は始まりこそ上昇して取引が開始されたものの、年始特有の薄商いの中、序盤は売り圧力に押され軟調な推移となった。
- しかし、買い手が現れたことにより下落トレンドは回避され、指数は回復した。
- 中小型株を中心に買いが徐々に広まっていき、市場心理の改善は大型株にも波及していった。
- 午後に入っても流動性は依然として低かったが、買い手優勢の状況が続いたことで指数の上げ幅は徐々に拡大。最終的には前日比プラスで取引を終了した。
- 特に、通信セクターが相場をけん引し、ほとんどのセクターが上昇。一方で、自動車・部品セクターは唯一下落した。
- 銘柄別では売りが優勢となり、395銘柄が上昇、106銘柄が下落、71銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は14.1%減少し14.7兆ドンとなった。

VN30指数は上昇トレンドを維持 (VN-30 +1.17%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、14銘柄が上昇、2銘柄が下落、1銘柄が横ばいとなった。
- GVR (+3.10%)、SHB (+2.74%)、STB (+2.70%)、ACB (+2.25%)といった銘柄が2%超上昇した。
- 一方、SSB (-2.71%)とBCM (-0.65%)のみが下落した。

セクター・個別株の動き

- HVN (+6.94%) はストップ高を記録。ベトナム証券法に「上場維持が必要な特別な場合は政府が検討し決定する」との規定が追加される草案が挙がっており、上場廃止が懸念されていた同社株にとって期待材料となった。

- VPG (+7.00%) はストップ高を記録。同社は 2024 年初め、日本のイオンモールグループとハロン市でショッピングセンタープロジェクトの起工式を開催した。総投資額は 5.2 兆ドン超で、2026 年 1 月に開業予定。
- 外国人投資家は売り越しが続き、その額は 217 億ドンとなった。FUSSVFL (+0.76%) がもっとも売り越された一方で、VCB (+1.20%) などが買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。